

第 37 期

事 業 報 告

自 平成 31 年 4 月 1 日
至 令和 2 年 3 月 31 日

知多南部卸売市場株式会社

1. 株式会社の現況に関する事項

(1) 事業の経過及びその成果

知多南部卸売市場株式会社は、知多地域における拠点市場を運営し、生産者と消費者を結ぶ公共的使命を果たしています。

令和元年度の売上高は、テナント2社の退去により前年度対比2.6%減の56,941千円、販売費及び一般管理費は、本市場の今後のあり方等を検討するため、経営コンサルタントに基礎調査業務(4,142千円)を委託したことから対前年度9.3%増の56,982千円となり、当期純損失は1,570千円となりました。

令和元年度は、関連事業者2社の撤退により売上げも減少するなか、青果売り場の天井照明灯のLED化や植栽の大幅な刈込みなど、市場内の環境整備に努めました。

一方、卸売市場法の改正により、取引規制が大きく見直され市場経営の自由度が高まることとなります。令和元年度は、新たな認定申請に向け、業務規程と施行細則の見直しを行いました。

この様な背景と本市場の経営環境を踏まえ、関係事業者へのアンケートや収支見込、施設改修への投資額を把握するなか、今後の具体的な市場運営のあり方について検討するため基礎調査業務を委託いたしました。

①市場取扱高(前年対比)

(数量：トン 金額：千円税込み)

区分	令和元年度		平成30年度		前年対比(%)	
	数量	金額	数量	金額	数量	金額
野菜	6,647	1,327,418	6,740	1,444,385	98.6	91.9
果実	2,135	929,934	2,423	956,347	88.1	97.2
水産	122	334,655	124	342,460	98.4	97.7
合計	8,904	2,592,007	9,287	2,743,192	95.9	94.5

②市場関係事業所の概要

種別		事業者名	代表者名	営業内容
卸売業者		株式会社知多総合卸売市場	竹内孝好	生鮮食料品卸売
仲卸業者		不二青果株式会社	服部 愨	青果物仲卸
		大進青果株式会社	大橋邦次	青果物仲卸
関連事業者	第一種関連	半田水産	池谷邦子	仕出用加工品
		株式会社丸一精肉	初山孝夫	精肉
加工棟		不二青果株式会社	服部 愨	青果加工等
その他事業者		株式会社システムサポート	酒井一虎	警備業務ほか
		株式会社中部メイカン	小寺仁康	清涼飲料水インスタント類
合計		8事業者		

③買受人及び買出人

令和2年3月末日（単位：人）

区分	半田市	常滑市	阿久比町	南知多町	美浜町	武豊町	その他	合計
買受人	120	70	19	47	32	33	110	431
買出人	37	8	3	5	0	5	19	77
計	157	78	22	52	32	38	129	508

(2) 資金調達等についての状況

①資金調達

該当なし

②設備投資

主要な設備投資はありません。

(3) 直前三事業年度の財産及び損益の状況

区分	第34期 平成28年度	第35期 平成29年度	第36期 平成30年度	第37期 令和元年度
売上高	千円 62,075	千円 61,084	千円 58,461	千円 56,941
経常損益	△ 284	△ 4,290	5,042	△ 1,274
当期損益	△ 20,267	△ 11,967	4,745	△ 1,570
1株当たりの 当期損益	△1,436円88銭	△ 848円48銭	336円43銭	△ 111円36銭
総資産	941,813	729,828	720,488	694,113
純資産	481,548	469,580	474,326	472,755

(4) 対処すべき課題

国は、各市場の実態に応じて創意工夫を活かした取組みを図るべく、卸売市場法を改正いたしました。

本市場は、取扱高の減少を始め、テナントの相次ぐ撤退、施設の経年劣化による維持管理費の増大等、厳しさを増す経営環境に直面しています。

このため、知多地域における本市場の一定の役割を踏まえた上で、種々の基礎調査結果をもとに本市場の選択すべき抜本的対策について、関係事業者との合意形成を図ってまいります。

今後、合意形成を得られた市場のあり方について、資金計画を始めとした事業計画を立案してまいります。

(5) 主要な事業内容

当社は、愛知県知事の許可を受けて市場を開設し、施設の維持管理と卸売市場法による業務の許可及び市場取引についての指導監督を行っております。

(6) 使用人の状況

使用人数（前期末比増減）	年齢	勤続年数
1名（0名）	46歳	16年

(7) 重要な親会社及び子会社の状況

①親会社との関係

該当なし

②重要な子会社等の状況

該当なし

(8) 主要な借入先及び借入額

借入先	借入額	借入先が有する当社の株式	持株比率
知多信用金庫（長期）	157,000 千円	0 株	— %

2. 株式に関する事項

①会社が発行する株式の総数 20,000 株

②発行済株式の総数 14,105 株

③株主数 3 名

④大株主

株主名	持株数	持株比率 %	当社の当該株主への出資状況	
			持株数	議決権比率
半田市	5,581	68.22	—	—
(株)知多総合卸売市場	2,600	31.78	—	—
自己株式	5,924			
合計	14,105	100.00	—	—

注 持株比率は、発行済株式の総数から自己株式数を除いて算出しております。

3. 新株予約権等に関する事項

該当なし

4. 会社役員に関する事項

(1) 取締役及び監査役

地位	氏名	担当	他の法人等の代表状況等
代表取締役	榊原純夫	社長	半田市長
取締役	竹内孝好	副社長	(株)知多総合卸売市場 社長
〃	山本兼弘 注1	専務	
〃	小野宗雄		(株)知多総合卸売市場 常務
〃	滝本 均		半田市市民経済部長
〃	出口久浩		半田市経済課長
監査役	浅野正照		(株)知多総合卸売市場 専務
〃	林 雅彦 注2		半田市会計管理者
〃	三輪象太郎 注3		半田市会計管理者

注1. 取締役山本兼弘氏は、令和2年3月31日退任いたしました。

注2. 監査役林雅彦氏は、令和元年6月13日退任いたしました。

注3. 監査役三輪象太郎氏は、令和元年6月13日就任いたしました。

注4. 令和2年4月1日付で、専務取締役に齊藤清勝氏が就任しております。

(2) 取締役及び監査役に支払った報酬等の額

区分	支給人員	支給額	摘要
取締役	1名	3,600千円	
監査役	0名	0千円	
合計	1名	3,600千円	

(注) 取締役の報酬限度は、平成25年6月17日開催の第30期定時株主総会決議において、年額400万円以内と決議いただいております。

5. 会計監査人に関する事項

該当なし

決算報告書

(第 37 期)

自 2019年 4月 1日
至 2020年 3月 31日

知多南部卸売市場株式会社

半田市横山町200

損 益 計 算 書

自 2019年 4月 1日 至 2020年 3月 31日

(当期累計期間)

知多南部卸売市場株式会社

(単位：円)

科 目	金 額	
【売上高】		
売上高	56,941,486	
売上高合計		56,941,486
売上総利益		56,941,486
【販売費及び一般管理費】		56,982,082
営業利益		△40,596
【営業外収益】		
受取利息	1,189	
受取配当金	4,000	
雑収入	109,659	
受取地代	30,000	
営業外収益合計		144,848
【営業外費用】		
支払利息	1,378,565	
営業外費用合計		1,378,565
経常利益		△1,274,313
特別利益合計		0
特別損失合計		0
税引前当期純利益		△1,274,313
法人税、住民税及び事業税	296,500	
法人税等合計		296,500
当期純利益		△1,570,813

販売費及び一般管理費明細書

自 2019年 4月 1日 至 2020年 3月 31日

(当期累計期間)

知多南部卸売市場株式会社

(単位：円)

科 目	金 額
役員報酬	3,600,000
給料手当	3,060,000
雑給	350,578
賞与	993,175
法定福利費	1,215,555
福利厚生費	159,432
交際費	5,470
会議費	4,590
旅費交通費	149,882
通信費	124,602
消耗品費	1,038,612
修繕費	765,080
水道光熱費	951,368
器具備品費	2,661,800
地代家賃	1,298,700
諸会費	55,804
支払手数料	988,050
リース料	872,640
保険料	675,870
租税公課	7,116,655
減価償却費	12,886,152
雑費	45,468
保守料	1,674,417
委託料	16,288,182
販売費及び一般管理費合計	56,982,082

株主資本等変動計算書

自 2019年 4月 1日 至 2020年 3月 31日

(当期累計期間)

知多南部卸売市場株式会社

(単位：円)

	株主資本								純資産合計
	資本金	資本剰余金			利益剰余金		自己株式	株主資本合計	
		資本準備金	その他 資本剰余金	資本剰余金 合計	その他 利益剰余金 繰越利益 剰余金	利益剰余金 合計			
当期首残高	70,000,000	92,625,000	542,625,000	635,250,000	△103,123,911	△103,123,911	△127,800,000	474,326,089	474,326,089
当期変動額									
当期純利益					△1,570,813	△1,570,813		△1,570,813	△1,570,813
当期変動額合計	0	0	0	0	△1,570,813	△1,570,813	0	△1,570,813	△1,570,813
当期末残高	70,000,000	92,625,000	542,625,000	635,250,000	△104,694,724	△104,694,724	△127,800,000	472,755,276	472,755,276

重要な会計方針に係る事項に関する注記

1. 資産の評価基準及び評価方法

(1) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

最終仕入原価法によっています。

2. 固定資産の減価償却の方法

①有形固定資産

定率法（ただし、平成10年4月1日以降に取得した建物（建物附属設備を除く）並びに平成28年4月1日以降に取得した建物附属設備及び構築物については、定額法）を採用しています。

なお、耐用年数及び残存価額については、法人税法の規定によっています。

②無形固定資産

法人税法に基づく定額法を採用しています。

3. リース取引の処理方法

リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっています。

4. 消費税の会計処理

税抜方式を採用しています。

株主資本等変動計算書に関する注記

1. 事業年度の末日における発行済株式の種類及び総数

普通株式 14,105 株

2. 事業年度の末日における自己株式の種類及び総数

普通株式 5,924 株

令和2年5月26日

知多南部卸売市場株式会社
代表取締役 柳原純夫 殿

知多南部卸売市場株式会社

監査役 三輪象太郎



監査役 浅野正照



監査報告書の提出について

私たち監査役は、会社法第381条第1項の規定に基づき監査報告書を作成しましたので、別紙のとおり提出いたします。

監査報告書

私たち監査役は、平成31年4月1日から令和2年3月31日までの第37期事業年度の取締役の職務の執行を監査いたしました。その方法及び結果につき以下のとおり報告いたします。

1. 監査の方法及びその内容

各監査役は、取締役及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、取締役会その他重要な会議に出席し、取締役及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、本社において業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書及び個別注記表）及びその附属明細書について検討いたしました。

2. 監査の結果

(1) 事業報告の監査結果


- 一 事業報告は、法令及び定款に従い、会社の状況を正しく示しているものと認めます。
- 二 取締役の職務の執行に関する不正の行為又は法令もしくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2) 計算書類及びその附属明細書の監査結果

計算書類及びその附属明細書は、会社の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

令和2年5月26日

知多南部卸売市場株式会社

監査役 三輪象太郎 

監査役 浅野正昭 